



わたうち

令和元年度最終号

令和2年3月24日発行 No.21

コロナウイルス感染拡大防止のため、3月9日より太田市内全小学校が臨時休校となり、ご心配をおかけしています。その後大きな広がりはなく、本日規模を縮小してですが、卒業式を行います。保護者の皆様と職員で心を込めて、卒業生を送り出したいと思えます。

また、26日(木)は、今年度最後の日となります。登校は保護者の判断によりますが、登校させる際は、マスク着用をお願いします。

1年間の終わりが、思いもよらぬ形になってしまいましたが、保護者の皆さまにはこの1年、綿打小の教育活動にご理解とご協力をいただき、大変ありがとうございました。

春休みが開けましたら、新年度が順調にスタートできることを願っております。今後について必要な情報は、連絡メールでお知らせしてまいります。ご家庭でも新年度にむけての準備とともに、お子さんの体調管理や生活リズムを整える等ご配慮ください。職員も一丸となって準備を進めてまいります。

学年末の予定について



3月24日(火)卒業式

- ・6年生、保護者(2名まで)、職員のみ参加で10:00~1時間程度
- ・1~5年生は臨時休校(学校での受け入れはなし)

3月25日(水)

- ・どうしても都合のつかないご家庭のお子さんの受け入れあり(14:40まで)

3月26日(木) 1~5年 臨時登校日

- ・8:30までに登校(スクールバスあり)
- ・マスク着用・ランドセル、ヘルメット登校

<日程>

- 8:30~ 8:45 学級の時間
- 8:45~ 8:55 校長の話(放送)
- 8:55~ 9:55 学級にて
通知表、通信、手紙等の配布、担任の話
- 10:00~ 退任式(放送)
退任職員の紹介とあいさつ
- 10:20 下校
- 10:30 下校便バス発

及び 修了式「退任式」について

26日は、終了式の日ですが、全体で集合することを避け、放送で校長が話をします。その後、各教室にて通知表を渡します。また、今年度より、退任式もこの日に行うことになっていましたが、やはり全校で集まることを避けるため、放送で行います。今年度末で転退職される職員を校長が紹介し、一言ずつ挨拶をしていただきますが、異動先については、この日は申し上げます。詳細は、新年度の学校通信にてお知らせします

心をこめて・・・6年生を送る会

2月28日(金) 5校時に「6年生を送る会」を行いました。
コロナウイルス感染防止のため、当初の予定を変更し、保護者の参観はなしで、各学年からの出し物のみの内容で実施しました。



1年生

1年生の「パブリカ」のかわいい歌と踊り。
2年生の「あえてよかった」の上手なピアノ演奏と振り付きの歌。

3年生の「パフ」に合わせたすてきな合奏とメッセージ。

4年生の指使いがとても上達したリコーダー演奏と、元気いっぱいの歌「チャレンジ」。

5年生のオリジナル劇「クラッピングファンタジー」と歌。みんなが笑顔になりました。

そして、6年生からのお礼の出し物は、リコーダー演奏に合わせて、ダンスやバスケット、縄跳び、走高跳、マットや跳び箱の高度な技などを披露してくれました。目の前で見ると、下級生は目を丸くしながらも、さすが6年生と尊敬の念を強くしていました。短縮の中にも、それぞれの学年からの心のこもった発表に、6年生も温かな気持ちになったことでしょう。



2年生



3年生



4年生



5年生



5年生

* 6年生の発表は、次のページに特集しました→



6年生



こすだのつぶやき・・・略して「こ・つ・ぶ」

Vol.18

式辞より～当たり前の日常を大切に～

卒業式では、卒業生にはなむけの言葉として、以下のことを伝えました。

今回、コロナ騒動で休校になったり、外に出て自由に過ごせなくなったりと、日常生活が不自由になりました。社会全体が先の見えない不安に駆られながら、日々を送って来ました。でもその中で気づいたことがあります。それは、あたり前と思っていた日常生活のありがたさです。学校に通い、友と学び、笑い、助け合って過ごす日常が、かけがえのない毎日だということです。どうぞ、四月からの中学校生活。自分の夢や希望にむかって日々努力することを怠ることなく、一日一日を大切に過ごしてください。そのために、次の二つを心がけてほしいと思います。

一つは、「多くの考えに触れる中で、自分なりに考え、強い意志をもつ」ということです。中学校での勉強や多くの本を読むことによって、先人の知恵に触れ、知識を豊かにし自分の生き方を探る中で、自らの意志をさらに強くすることができます。また、周りの人とコミュニケ

ーションをとることも、様々な考えに触れ、自分の考えをもつために有効です。今年、多くの人の感想や作文が新聞に掲載されました。これも自分なりの考えを確かなものにする一つの方法と考え、奨励してきました。その中で、みなさんは確実に表現力が向上しました。これからもその姿勢を大切にしてほしいと思います。

もう一つは、「感謝する心」です。今日、この日を迎えられたのも、みなさんの周りにいる多くの人の支えがあったからです。当たり前の日々感謝し、まわりの方々への感謝を忘れないでください。愛情をもって育ててくださったご家族、優しく時に厳しく、教え導いてくださった先生方、温かく見守り支援して下さった地域の方々、そして、ともに励ましい助け合った仲間たち。このつながりがこれからのみなさんの源です。そしてこれから出会うすべての人たちへも感謝の心を持ち続けてほしいと思います。

